

## 2022年度（28回）通常総会第2回理事会の会開催決定

年度前半の重要イベントが一段落したころの8月下旬に第2回理事会をしてきました。ここでは年度総会で決定された方針が確実に実行されてきたかどうかと、その効果や課題を明確にして、後半に生かしていく大切な機関会議です。総会では大項目8つと小項目39を決定しました。それについての評価を理事の方々からいただきます。そして予算案のうち支出面について主なイベントや単独の予算に編成したもので、年度中間の執行状況を確認し、さらに充実した事業内容の充実と課題に応えられるようにしてゆくために検討いただくことを目的にしています。また昨年から徐々に大きな課題に取り上げてきた道路拡幅計画に伴う事務所改築問題とならんで、里山の会役員の高齢化と体力の後退、後継者育成と活動継続の絡みで、2023年度以降の活動継続問題についての結論や決意を固めあうための最終場面にさしかかった、これまでにない非常に重要な理事会です。

そのために従来年度総会議題に加えての特別重要課題を審議いただくため、午前の部では例年通りの年度総括整理を行い、午後の部では継続に係る諸課題を検討いただき、2023年度総会に向かって議論を深められる大事な理事会です。理事各位には好むと好まないにかかわらず重要な時期に大役をお引き受けいただき誠に大変ですが、慎重審議いただけるよう事前の準備を整えて会議に臨んでいただきますようお願いいたします。

## 桂川での竹蛇籠設置について

10月10日を竹蛇籠製作講習会の初日に予定をしていますので、蛇籠製作の現場を確認するために保津川漁協の磯部様と河川レンジャーの南良様にお盆の16日にご同行願って、里山の会から大村理事長と森島副理事長、そして常務理事の山村が現地の下見に参加してきました。今回の竹蛇籠製作は、桂川に設置された魚道に竹蛇籠を並べ、アユなどが遡上できるように整備することです。竹蛇籠製作講習会の予定場所は嵐山東公園の林の中の広場です。また竹蛇籠を設置する魚道は、桂川の本川の五号井堰から水流がとうとうと流れています。魚道の幅に、水流と直角に蛇籠を8本並べて設置するという工法です。本流の流れに流失しないようにしっかりした重さも必要でしょうし、何よりも杭で流失防止杭対策が重要になってきます。これらの状況を見てみると、設置するための諸対策をしっかり確立して実行すべきだと感じました。これまで木津川で中聖牛の取り組みとは全く次元の違う本格的な水中土木工事だと現場を視察しての感想です。関係いただく皆さんは写真を見るだけでなく一度は現場に足を運んでみていただきたいものです。

### 現地視察での感想と問題点

- 1 竹蛇籠製作広場 立木があって7mもの竹を自由に振り回すには狭い、一面だけの作業面積
- 2 竹蛇籠を水辺に運ぶための通路整備が必要
- 3 井堰のたたきの部分（約50mの歩行）の安全確保
- 4 蛇籠固定の杭打ちに重機使用は不可欠 人力では不可能 最低3本の杭は必要だろう
- 5 水流を横に流す対策が不可欠

保津川漁協 075-861-4609 Fax 075-861-4635

## 3か月前にイベントの企画の必要性

里山の会でなかなか実行できないものが3か月前の企画案の発表です。これまで何回も、何年度も強調してきましたが、定番のイベントでもなかなか実行できていません。したがって市町村やその他の広報で広く宣伝し、幅広いところからお集まりいただく点では大きな弱点となっています。一応現在イベントは子どもたちが集まっていますし、イベントとしての形は整えられてきています。新しい若い力も育ち始め

てきていますが、後継者ということで考えると不十分で大変大きな問題となってきているようです。少なくともやろうとしていることは何とかやり切れているのですが、3か月後を見通した企画力の不足が目立ちます。イベント当日の作業は実行できていて、すごい行動力が発揮されています。しかし、そこ止まりなのが問題です。

言葉でも話し合いでもよく分かったとの反応ですが、実際のところでは実行できずに来ています。総会で決定してきていますので、決定事項を脇に置かず正面に据えて真正面から取り組んでいただきたいものです。そうすればすべての課題は解決することができるようになると思います。里山の会の皆さんは「自然を大切にする仲間の輪を大きくする」のスローガンに意義があるわけではなく、その実現に向かって力一杯の奮闘されているのですから、慣例に流されず総会決議案を正面に据えての取り組みをお願いします。

これまでと同じ取り組みであればこの難題を乗り越えられないと思います。みんなが少しずつ変わったらいいいのです。昔からの「ちりも積もれば、山となる」を教訓にして、まず一步前進しましょう。



この上流が嵐山の渡月橋です この下流が四条通りの松尾橋になります。  
桂川の左岸から撮影した魚道です。川の向こう岸が嵐山東公園です

## 年度後半のイベントへの要望をお寄せください

皆様のご意見を理事会に反映させていただくためにも、ご意見をお寄せください。

## 生き物担当の後継者づくり

これまで昆虫関係などの取り組みのけん引していただいていた、八幡市から自動車でお越しの金田徹さんは、この間、体のハンデいを乗り越えて自からの昆虫好きを活かして献身的に頑張ってきていただきました。相当な頑張りで、家族の方々も大変心配されています。できることなら後継者に取組などを引き継ぎたいと幾度も表明されてきました。ヤマトサンショウウオや、オオムラサキ、アサギマダラ、クワガタムシ、カブトムシなどの昆虫について、まさに里山の会の生き物観察の大黒柱を果たしてきていただきました。これからは第一線でなく、援助と育成のための活動をしたいと願っておられます。どなたか一緒に引き受けていただける方はおられないでしょうか。自分の行える範囲での行動をお願いいたします。